

## ご挨拶

2004年1月に「化学生物総合管理学会」が発足して以来、4月には特定非営利活動法人(NPO)に発展し、7月には第1回の学術総会を開催することができました。そして、諸規定の整備と編集委員会の発足などを経て、この度ホームページを開設する運びになりました。これもひとえに、会員の皆様方のご努力と多くの方々のご支援の賜物であります。改めてここに感謝申し上げる次第です。

化学物質や生物のリスクに関する社会の関心はますます高まっております。国際的論議は広がり、一層、加速度を増しております。「化学生物総合管理学会」は、こうした状況の中で、化学物質や生物のリスクの評価や管理に関心を持ち、あるいは、日々、こうした分野で実務にそして研究にたずさわの方々、科学的な知見と論理的思考を踏まえつつ、広く相互に意見を交換し自己を研鑽するとともに、社会に広く提言・発信する場として発足いたしました。

その後、学会の最も重要な草の根の活動として、すでいくつかの研究会の発足が提起され活発な活動を開始しております。また、ナノ材料に関する論議を始め、学会の積極的な発言、提言を求める期待の声が内外から寄せられております。また、学会が提起し支援してまいりました公開講座は、2004年9月より「化学・生物総合管理の再教育講座」としてお茶の水女子大学の場で開講される運びとなりました。技術革新と生活・社会の相互関係を学びつつ、化学物質や生物の総合管理について学習する機会を社会に提供することができることとなりました。

こうした「化学生物総合管理学会」の活動をより多くの方々に知っていただき、学会の活動に積極的に参画していただく機会を増やすため、学会のホームページを開設するとともに、意見交換と論議の場として、自己研鑽と提言・発信の場として、さらに研究と教育を促進する場として、ホームページ上に学会誌「化学生物総合管理」を発行する予定です。

この学会誌は多くの方々に広く開かれております。学会員のみならず、化学物質や生物のリスクの評価や管理に関心をお持ちの方々、そしてこの分野で実務や研究にたずさわの方々、また、いわゆる学術論文や研究論文の投稿に限らず、多大な労力と知的活動の集大成であるリスク評価書やリスク管理書の投稿、内外の情報や動向に関するレビューや提言などの投稿、企業や行政、地方自治体やNGO・NPO、専門機関やシンクタンク、大学や学会などの実社会における諸々の経験を背景とした投稿なども大歓迎です。また、学会誌上において、良識と一定の規範の下に、論議と意見の交換が行いえるように運用していくことといたしております。

皆様方の力強いお力添えを糧に、ホームページの開設を契機として、「化学生物総合管理学会」の一層の展開を期し、社会と会員の皆様方の期待に応えるべく、心新たに邁進してまいります。さらに多くの方々が「化学生物総合管理学会」へ参加し、諸活動へ参画して下さることを期待いたしております。

2004年9月

特定非営利活動法人  
化学生物総合管理学会  
理事長 増田 優